

第19回 世界自閉症啓発デー（令和8年4月2日）に寄せて

毎年4月2日は、国連が制定した「世界自閉症啓発デー」です。また、日本では4月2日から8日までを「発達障害啓発週間」としております。第19回目の世界自閉症啓発デーを迎えるにあたり、一般社団法人日本自閉症協会の皆様をはじめ、関係団体の皆様のご尽力により関連イベントが開催されますことに、心から感謝申し上げます。

今年のキャッチコピーは、「ちがいはちから つながりは未来」です。私は、このキャッチコピーに、「自閉症などの発達障害がある方々の多様性を大切にし、ご本人やご家族が地域の皆様とつながりながら、笑顔で過ごせる社会を目指していこう」という多くの方々の思いが込められていると感じています。

啓発デーをきっかけに、東京タワーをはじめ、全国各地のランドマークが青色にライトアップされる「ライト・イット・アップ・ブルー」や、自閉症の特性があるセサミストリートのキャラクター「ジュリア」を起用した啓発ポスターの掲示など、全国各地でさまざまな取組が展開されています。

また、公式テーマソング「We Belong — わたしたちのうた」や、当事者の皆様の声をまとめた「メッセージ・イン・ブルー」を公式ウェブサイトで公開するなどの多種多様な企画を通じて、自閉症や発達障害への理解がより多くの国民の皆様にも広がっていくことを期待しています。

現在、厚生労働省で特に力を入れて取り組んでいるのは、強度行動障害の状態にある方に対して高度に専門的な支援を行う、中核的人材の養成です。こうした人材を全国各地で育てていくことで、どこに住んでいても誰もが安心して暮らせる環境を整えてまいります。

今後とも、自閉症などの発達障害のある方々の多様性が尊重され、障害の有無にかかわらず、誰もが共に育ち、共に生きる社会の実現に向けて、施策の充実に努めてまいります。そして、その際は、ご本人やご家族の声にしっかりと耳を傾け、思いに応えたいと思います。

皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和8年4月2日

厚生労働大臣 上野 賢一郎